

〈技術資料〉

ベトナム漆と漆器について

林 保美

1. はじめに

日本とベトナムの関係は、歴史的にも古く、16世紀末には中部の町ホイアンに日本人町が出来、朱印船貿易で日本が鎖国を始めるまでの約30年間交易を行っていた。ホイアンは現在でも観光地として多くの日本人が訪れている。ベトナム漆との繋がりは、1718年に中国を経て長崎に輸入された記録がある¹⁾。近年では、若い女性の間にはベトナム雑貨ブームが起き、ベトナムの工芸品に注目が集まっている。その中には漆器も含まれている。“漆を科学する会”では1997年にベトナム漆植栽地状況調査・漆樹から漆液の直接サンプリング・漆集積地でのサンプリング・漆器製造技術等の調査を行った。この調査団に参加し得た情報と、2009年拙者が私的に行ったベトナム漆器の調査を基にベトナム漆と漆器について記述する。

2. ベトナムについて

正式名はベトナム社会主義共和国 (Socialist Republic of Vietnam)、首都はハノイである。国土は約33万平方キロで、日本の面積より少し小さい。インドシナ半島の東側をふちどるような南北に長いS字形の地形である。人口は8,579万人 ('09年国連推計)、民族的には人口の約90

2009年6月1日受付

%をキン族(ベト族)が占め、その他は50以上の少数民族からなる多民族国家である。日本との時差は-2時間である。為替レートは調査を行った2009.4.現在、1US\$=100円=18,000ドン。

気候は北部が亜熱帯性気候、夏季(5~10月)と冬季(11~4月)。南部は熱帯モンスーン気候、雨季(5~10月)と乾季(11~4月)。中部では雨季(10~2月)と乾季(3~9月)であるが、南北に長い地形のため北部では四季(短い春秋)があるなど気候はかなり異なる(図1)。

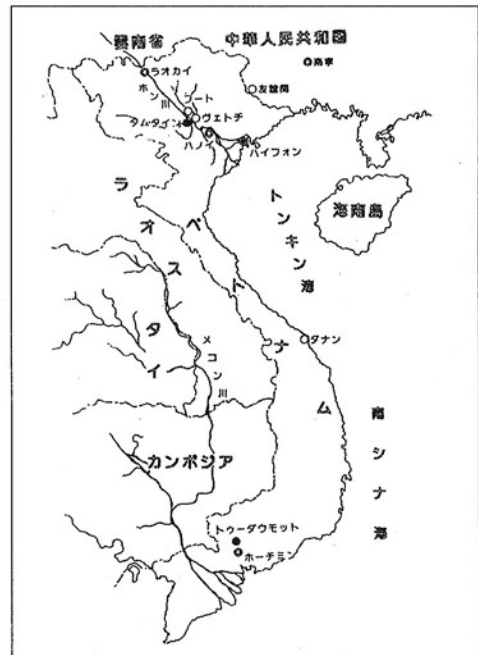


図1 ベトナム略図(●は調査地)